

令和6年度 後期学校評価アンケート結果分析

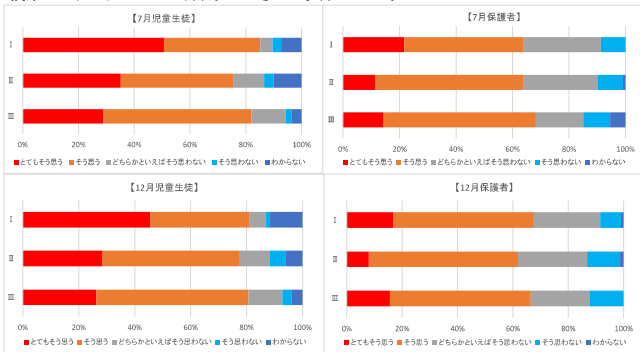
グラフの見方

- 縦軸のⅠ・Ⅱ・Ⅲは、Ⅰ（1・2年）、Ⅱ（3～5年）、Ⅲ（6～9年）
- 帯の色は左から「とてもそう思う（赤）」「そう思う（オレンジ）」「どちらかといえばそう思わない（灰色）」「そう思わない（水色）」「わからない（青）」を表す。

○「確かな学力」に関すること

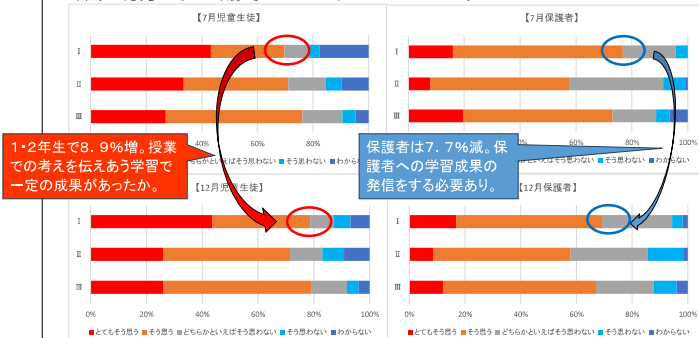
①「主体的な学び」の充実

授業では、めあてをもって、自分から進んで学習している。



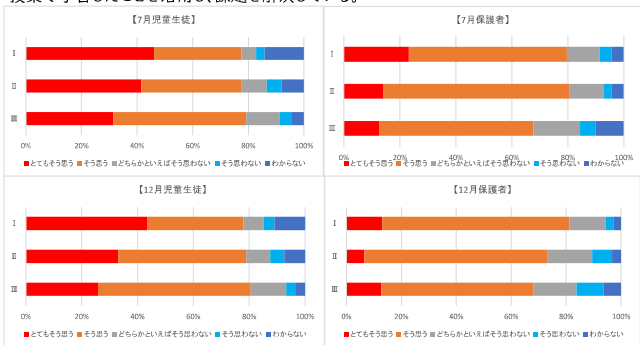
②「対話的な学び」の充実

自分の意見や思いを、筋道立てて人に伝えることができる。



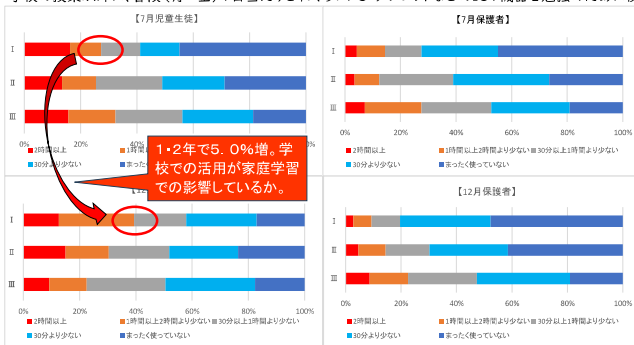
③「深い学び」の実現

授業で学習したことを活用し、課題を解決している。



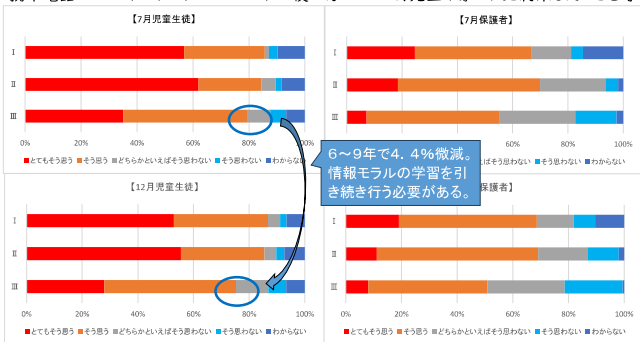
④情報活用能力の育成(勉強への活用)

学校の授業以外に、普段（月～金）1日当たりどれくらいのPC・タブレットなどのICT機器を勉強のために使っている



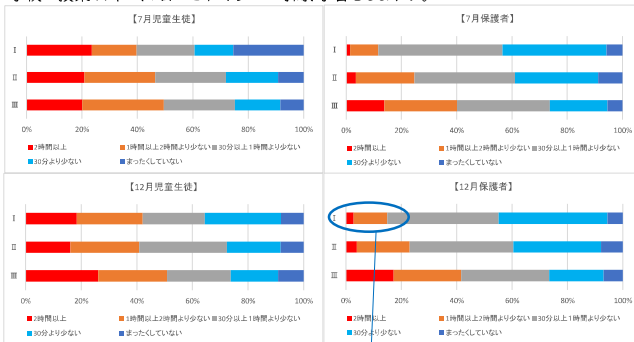
⑤情報活用能力の育成(携帯やコンピュータの使い方について約束を守っている。)

携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、先生や家の人と約束したことを守っている。



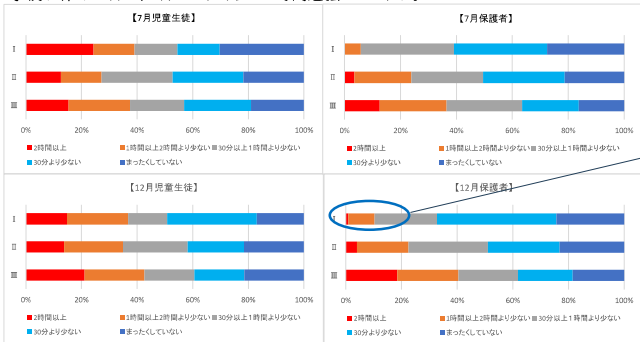
⑥家庭学習の充実(学習時間)

学校の授業以外に、1日にどれくらいの時間、学習をしますか。



⑦家庭学習の充実(家で自分で学習計画を立てて勉強している。)

学校が休みの日に、1日にどれくらいの時間勉強をしますか。

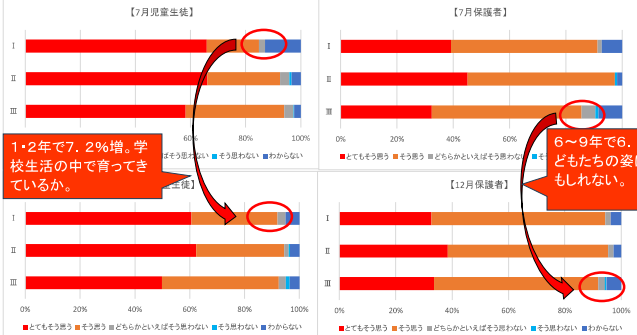


家庭学習に関わる項目では、1・2年児童生徒の回答した時間に比べて、保護者の把握している学習時間が大幅に少ない。低学年の子どもたちには、自分で学習した時間の把握が少し難しいのかもしれない。

○「豊かな心」に関すること

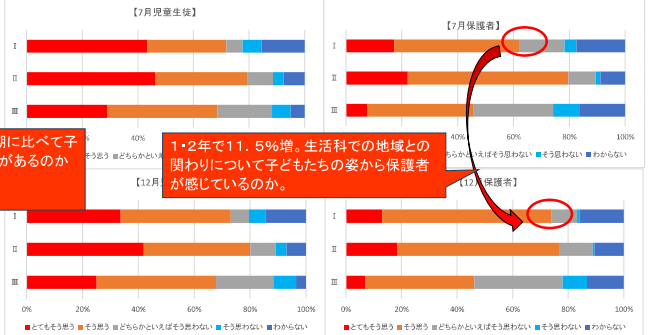
⑨道徳授業の充実(クラス・学年・学校の仲間を大切にしている。)

クラス、学年、学校の仲間を大切にしている。



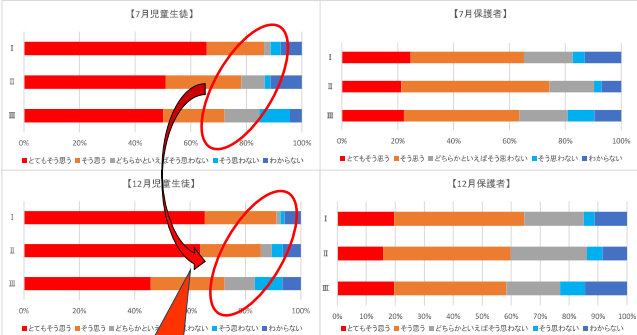
⑩生活科・総合的な学習の時間(ゆめづくり・夢創)の充実(地域との関わり)

東山泉地域のすてき(良いところ)を見つけている



⑪生活科・総合的な学習の時間(ゆめづくり・夢創)の充実(将来の夢や目標をもっている。)

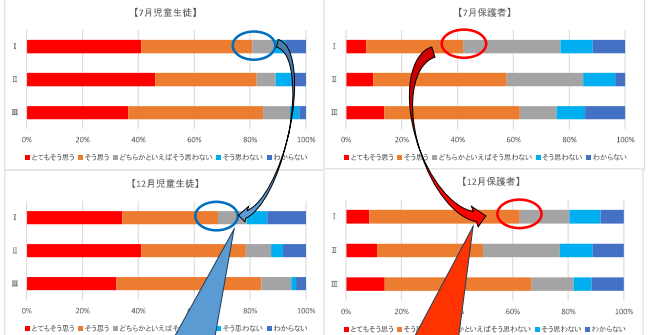
将来の夢や目標を持っている。



すべてのブロックで増加している。学習の中で将来の夢や目標について意識が高まったか。

⑫生活科・総合的な学習の時間(ゆめづくり・夢創)の充実(探究学習)

生活科・ゆめづくり・夢創で、課題を立てて情報を集めて整理し、調べたことを発表する学習に取り組んでいる。



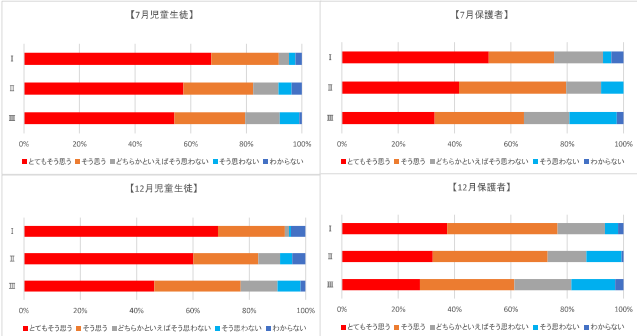
1・2年で12.2%減。学習のなかで探究学習についての難しさを感じているのかもしれない。

一方で、保護者は子どもたちの探究学習の中での成長を感じているようだ。

○「健やかな身体」に関すること

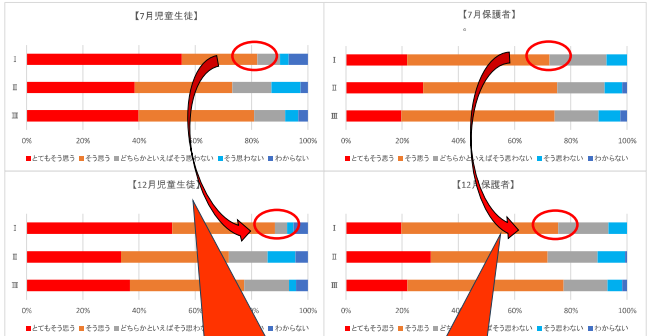
⑬健やかな身体づくり(よく体を動かしている。)

外遊び、体育の授業、運動部活動等で、よく体を動かしている。



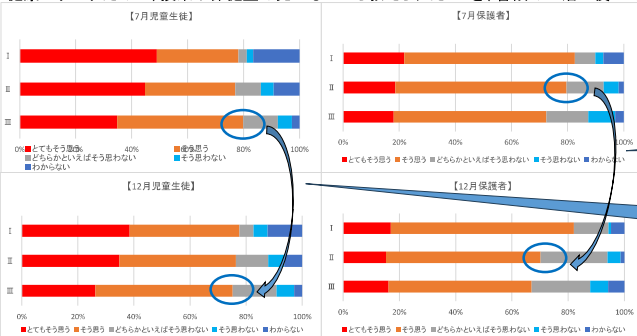
⑭食教育の充実(好き嫌いせず、バランスのとれた食事をしている。)

自分の健康や成長のために、好き嫌いせず食べている。



⑮健康教育の充実(心や体を大切にしている。)

健康に過ごすために、授業や保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てている。



1・2年は6.2%増加。給食を通じた食教育の中で、好き嫌いせず食事をするできるようになってきているのだから。

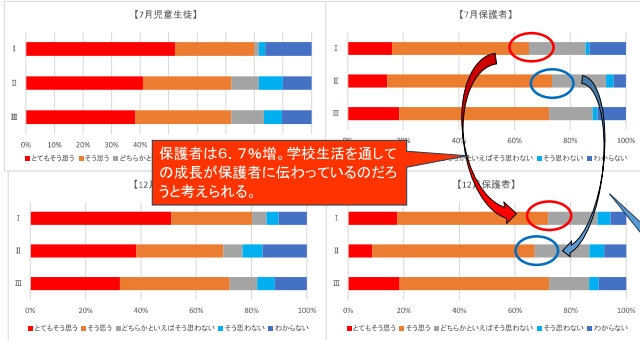
保護者は3.0%微増。保護者にも若干、子どもたちの変化が伝わっているのだから。

3～5年の保護者に9.4%減。子どもたちの変化を家庭で感じてもらえるのだから。

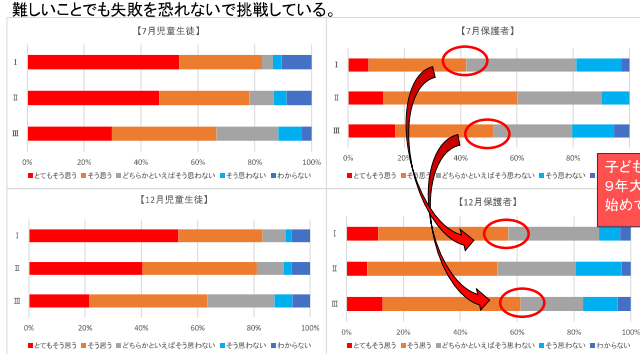
6～9年で4.7%減。保健の授業やいきいき健康教室、性に関する指導等の充実を目指す必要がある。

○学校教育目標「真の逞しさ」に関すること

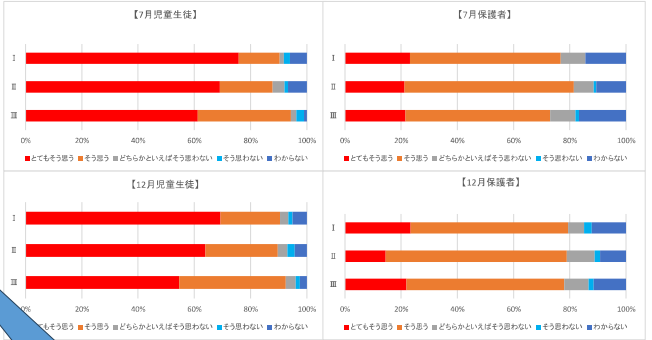
⑮「真の逞しさ」の追求(自分にはよいところがあると思う。) 自分にはよいところがあると思う。



⑯「真の逞しさ」の追求(難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。) 難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している。

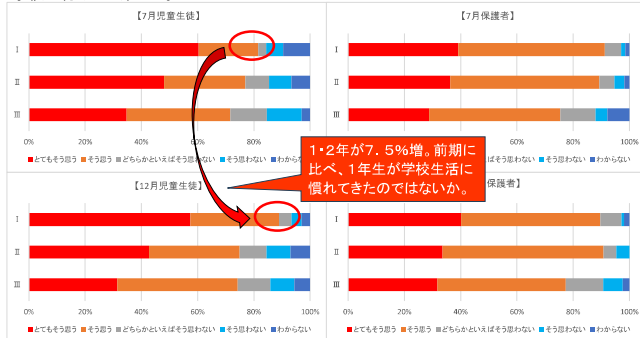


⑯「真の逞しさ」の追求(人の役に立つ人間になりたい。) 人の役に立つ人間になりたいと思う。

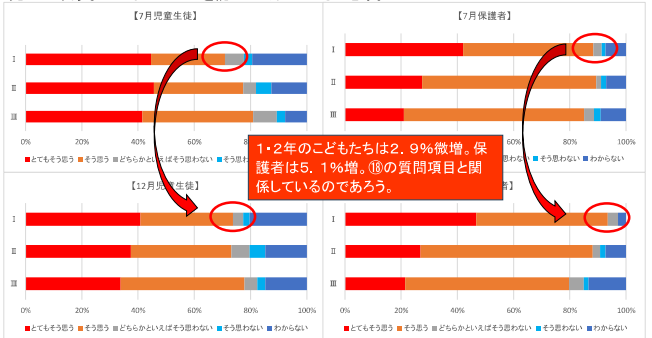


○東山泉小中学校の「小中一貫教育」に関すること

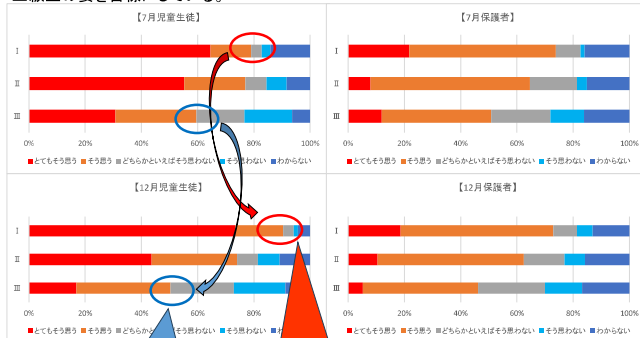
⑰小中一貫教育の充実(学校に行くのが楽しい。) 学校に行くのが楽しい。



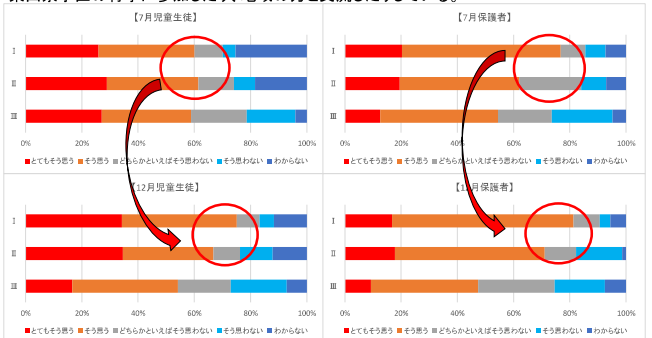
⑱小中一貫教育の充実(教職員はよいところを認めてくれている。) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。



⑳小中一貫教育の充実(上級生の姿を目標にしている。) 上級生の姿を目標にしている。



㉑小中一貫教育の充実(地域の方と交流している。) 東山泉学区の行事に参加したり、地域の方と交流したりしている。



保護者のみなさまから様々なご意見をいただきました。貴重なご意見ありがとうございます。

○学校の働き方改革について

→近年、学校の働き方改革について京都市教育委員会をはじめ、全国的にさまざまなかたちで発信されています。その理由の一つとして挙げられるのが、教員不足の深刻化です。これまでの教員の深刻な長時間労働の実態が広く周知されるようになり、その多忙な働き方から、教師を目指す人が減少している実態が全国的にあります。そして、ご多分に漏れず、京都市も教員が足りない状況が続いています。

東山泉小中学校ではこういった社会の状況を受けて、働き方改革を推進しています。教員が常に入替わり、時には不足する状況の中で、開校 11 年目を迎え、施設併用型義務教育学校として、これまでの取り組みが継続可能であるかどうかを精査し、より教育効果の高い取り組みを創っていきたいと考えています。「子どものため」にできる限りのことは力を尽くしていきたいと教職員一同考えております。しかし、以前のようにご家庭や地域のご期待に沿うことはできないかもしれません。だからこそ、保護者の皆様や地域の皆様のご理解とお力添えをいただけましたら幸いです。子どもも教師もいきいきと笑顔あふれる東山泉小中学校を目指していく所存です。ご協力よろしくお願いいたします。

○子どもたちとの関わり方について

→「いつも優しく丁寧に見ていただいてありがたいです」「子どもの特性に合わせて先生方にご対応いただいている」といったお褒めの言葉をたくさんいただいています。ありがとうございます。一方で、「先生から褒められることが少ない」「先生があまり注意してくれない」「多感な時期の子どもに対し、臨機応変な対応をしてほしい」「子どもたちと接する際の言葉遣いに配慮してほしい」といったご意見もいただいています。こういったご意見は真摯に受け止め、教職員一同、研鑽に励みたいと考えています。学年が上がるにつれて、子ども達は思春期を迎え、不安定な時期を過ごします。子ども達の発達の段階に応じて、保護者の皆様と力を合わせて教育活動を行っていただければと考えております。ご協力よろしくお願いいたします。

○学校行事について

→「行事をもっと充実させてほしい」というご意見をいただいています。行事をきっかけに子どもたちは大きく成長します。教員としても、行事を通しての子どもたちの成長は大きな喜びです。しかし、一方で、行事を増やすことで、その行事に向かうための取り組み時間も増えるということになります。今年度から、標準授業時間数を大幅に上回らないようにと文部科学省から通達も出ております。したがって、以前のように取り組みただけ取り組める状況ではありません。また、上記にありますように、働き方改革の推進の観点からも行事の精選が必要となっています。これまでの学校教育の中で様々な行事を経験されておられる保護者の皆様におかれましては、物足りなさを感じるかもしれませんが、子どもたちにとって教育効果の高い行事となるように質の向上を目指していきます。ご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

→体育大会について

子どもたちの体調の問題や、準備のための取り組み時間の問題から、これ以上種目を増やすことは難しいと考えています。より質を高められるように、検討いたしますのでご理解いただきますようお願いいたします。保護者の観戦につきましてはご自身のお子様が出場していないときには席をお譲りいただくようにわかりやすく発信させていただきます。また、狭いスペースの中での席取りにつきましては、たくさんの保護者の皆様にお子様を観戦していただけるようにしていくために、お控えいただきます。ご協力お願いします。

○学校の安全対策について

→「学校の安全対策をもう少し強化したほうがよいのではないか」といったご意見をいただいています。子どもた

ちの安心安全を守るために力を尽くしていきます。状況に応じては警察とも連携しながら進めてまいります。ただ、学校として、できることとできないことがございますので、その点につきましてはご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

○放課後のグラウンド開放（西学舎）について

→「放課後のグラウンド開放を増やしてほしい」というご意見をいただきました。放課後にグラウンド開放を行うには、不審者侵入や子どもたちの事故・トラブルを未然に防げるように教職員がつく必要があります。教職員の会議日や委員会活動などの行事がある日は教職員がつかませんのでグラウンドの開放は行っておりません。また、子ども達の安全と健康を最優先いたしておりますので、気温が非常に高い日や天候が悪い日も行っておりません。時間については教職員の授業準備等の時間の確保のために16:00までとしております。子ども達にとって外遊びは体作りや人間関係の形成に非常に大切なものです。学校としても大切にしていきたいと考えています。こういった状況をふまえて、ご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

○部活動（東学舎）について

→「部活動の数が少ない」とご意見をいただきました。昨年度からご回答しています通り、部活動を通して学べるものは本当にたくさんあり、これまでの学校教育のなかで部活動が果たしてきた役割というのはとても大きなものであると考えています。しかし、現在の本校の東学舎の部活動の数は10です。学校の規模によって部活動を維持できる数は限りがあります。東山泉の学校の規模では現在の部活数以上に増やすことはできません。その中で、社会スポーツや習い事に力を注ぐご家庭もたくさんあり、年々部活動の加入率は下がってきています。本校では、すでに試合を成立させるために人数がそろわずに合同チームとなっている部活動があります。部活動に参加する子どもの数と、担当する教員の数との兼ね合いで、新しく部活動を作るためには、どこかの部活動を廃部にしなければならない状況です。部活動ガイドラインを守り、働き方改革の取り組みを進めるにあたり、学校での部活動については以前のように活発に行うことは難しいです。部活動の地域展開については、報道でもあるように自治体によって進捗状況に差があります。京都市の部活動の地域展開については新聞報道で取り上げられている情報しか学校も把握できていません。現状、学校で活動できないスポーツについては地域のスポーツチーム等に参加し、活動をしていただくことになります。ご理解の程、よろしくお願いいたします。

他、たくさんのご意見をいただいています。ありがとうございました。また、学校評価アンケートでいただきましたご意見に対して、すべてではありませんが回答させていただいたことに対してお褒めの言葉をいただいています。ありがとうございました。いただいたご意見を参考に、これからの東山泉小中学校の教育活動のさらなる質の向上を目指していきたいと考えています。今度とも東山泉小中学校の教育活動にご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

以下、京都市教育委員会より保護者や地域の皆様に向けて作成された京都市の働き方改革に関するリーフレットです。ご一読いただければ幸いです。

京都市の学校・幼稚園の働き方改革

子どもも 教師も いきいきと 笑顔あふれる 学校づくり

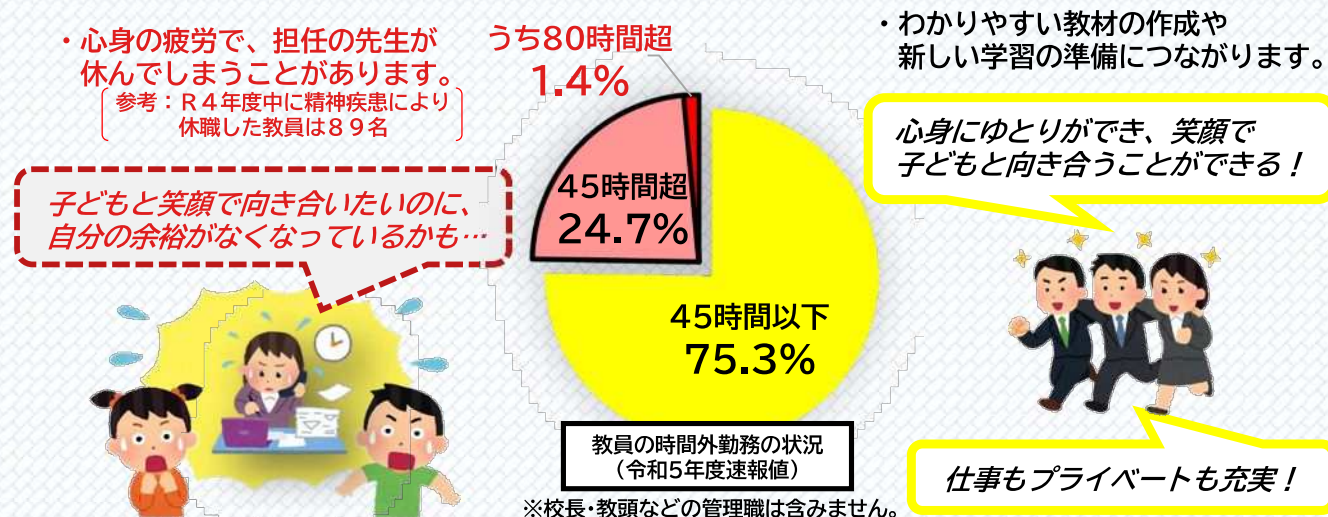
京都市では、令和2年3月に働き方改革の方針を定め、学校・保護者・地域の総体で、持続可能で豊かな学びを実現する、笑顔と魅力あふれる学校づくりを進めています。
保護者や地域の皆様には、教師が「教師でなければできない業務」に集中できるよう、各学校・幼稚園の取組にご理解とご協力をお願いします。

Q. どうして今、学校の働き方改革が必要？

令和5年度中、時間外勤務が過労死ラインである月80時間を超えた教員が
91校園（全校園の約36%）に存在しています。

※京都市の目標：月45時間以内

（小：25校、中：55校、義：3校、高：7校、支援：0校、幼：1園）



多忙な働き方の改善が進まないと、教師を目指す人が減少します。
⇒ 全国的な課題でもある教員不足が深刻化します。

Q. 先生の1週間は？（中学校教諭・月80時間超えの一例）

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|-------|---|-----------|-------|-----------|-------|-------|--------------------------------------|
| 8:00 | 出勤 | 出勤 | 出勤 | 出勤 | 出勤 | | |
| 8:30 | 生徒登校/登校指導 | | | | | 休日 | 休日 |
| 12:00 | 授業/別室対応/担任業務/教材研究/校務分掌/校内パトロール など ※昼食指導もあるため、休憩時間がままならないことも… | | | | | 部活動指導 | 部活動指導 （大会やコンクール/地域行事） /地域行事（※） |
| 15:45 | 部活動指導 | 部活動指導 | 部活動指導 | 職員会議 | 部活動指導 | | |
| 17:00 | 個別生徒対応/家庭訪問 | 家庭連絡/生徒相談 | 退勤 | 家庭連絡 | 家庭連絡 | 休日 | 休日 |
| 18:00 | | 教材研究 | | 担任業務/教材研究 | 教材研究 | | |
| 20:00 | | | | 退勤 | 退勤 | | |
| 21:00 | 退勤 | 退勤 | | | | | |

※地域行事の他、季節のイベント、夜間のパトロールや各種会議への出席等

！ 平日の勤務時間外のみならず、土日祝の勤務もすべて「時間外勤務」となります。

！ ノー残業デーや電話対応・部活動指導の時間設定等、各校園で働き方改革の取組を工夫しています。

教育委員会や学校園の取組をご理解・ご支援ください

日頃、地域や保護者の皆様には、登下校の見守りや放課後の自主学習の支援、教職員の事務補助をする校務支援員等、学校園をサポートするスタッフとして、ご支援いただく等、これまでから、地域ぐるみ・市民ぐるみで、未来を担う子どもたちの豊かな学びを支えていただき、感謝申し上げます。子どもたちが地域の担い手として成長するため、身近な地域の特色・歴史の学習や京都ならではの文化体験など、引き続き地域の方々からの学びが必要です。

生き生きとした姿で子どもと向き合うために

子ども一人ひとりの持つ個性は無限です。多様な子どもを誰一人取り残さない教育に携わる先生方は、子どもたちにとって尊くかけがえのない存在です。先生方が身体も心も満たされた状態で、日々笑顔で子どもたちと向き合って頂けることが、子どもの健やかな学びと育ちのためには、何より大切であります。

私たちPTAは、教員の深刻な長時間労働の実態を理解し、学校の働き方改革に賛同いたします。保護者も学校の一員であり、子どもの最終責任者です。また、先生方にも家庭があり、私たちと同じように子育て中の先生方もおられ、家族と過ごす時間が必要です。教員の時間外勤務につながる活動を行わないことはもとより、家庭教育の責務の自覚を高め、保護者の過剰な苦情や過度な要求等により、教員を疲弊させません。学校や子どもたちに関わる全ての皆様と共に先生方を支え、子どもたちの未来のために、共に行動していきたいと思えます。



京都市PTA連絡協議会

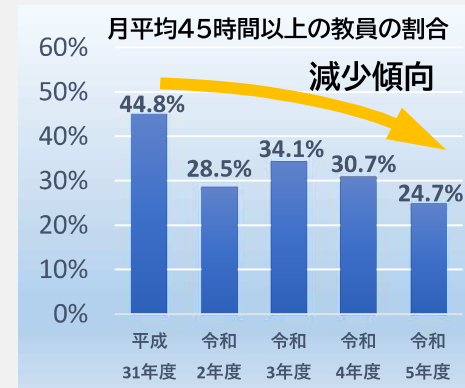
子どもも教師もいきいきと笑顔あふれる学校づくりのために

教員は皆、子どもが成長する姿を見ること・その過程に関わることをやりがいとして働いています。しかし、現在、「子どものため」と長時間勤務をいとわない働き方を是とする考え方や一部の過剰な苦情や不当な要求への対応、放課後や休日の校務外の行事への引率等により、教員の疲弊を招き、深刻な社会問題となっています。教育実習に参加した大学生からは、多忙な学校の様子を目にし、教員を志願するか悩ましくなるという声も聞きます。今いる教員が心身ともに元気に子どもと向き合えるように、さらには、意欲・能力ある若者に教員を目指してもらえるように、京都市でも思い切った見直しが必要です。

この間、働き方改革を進めることで、コロナ禍の影響を除いても、京都市の教員の時間外勤務は減少傾向にあります。今後より一層の改善を図るため、日頃から学校教育にご支援いただいております地域や保護者の皆様にも、この厳しい状況・働き方改革の必要性をご理解いただき、

これまで慣例的に学校が放課後や休日等の勤務時間外に担っていた対応や役割の見直しについて、ご支援いただきたいと思えます。

教育委員会としても、働きやすく、働きがいがある学校・幼稚園づくりこそが何よりも子どもたちにとって、より良い教育の実現につながるとの認識のもと、取組を進めてまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



京都市教育長 稲田新吾

京都市教育委員会ホームページで
働き方改革に関する取組を発信中です！

京都市教委 働き方改革

京都市教育委員会 教職員人事課 働き方改革担当

☎ 075-222-4515



京都市教育委員会 令和6年6月発行